

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	和歌山社会福祉専門学校
設置者名	学校法人きたば学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会福祉 専門課程	介護福祉科	夜・通信	2,080 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ (<http://www.wakayama-syukai-fukushi.ac.jp>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	和歌山社会福祉専門学校
設置者名	学校法人きたば学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務室に備付で、申請があれば閲覧・公表。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	現職：株式会社役員	2019年4月1日～2022年3月31日	学生状況や経営状況を客観的に判断し、助言する役割を期待。
常勤	現職：株式会社役員	2019年4月1日～2022年3月31日	学生状況や経営状況を客観的に判断し、助言する役割を期待。
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	和歌山社会福祉専門学校
設置者名	学校法人きたば学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年、授業計画及び到達目標、成績評価の方法に関しては介護福祉士養成に必要とされる 4 領域（人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケア）の内容を、担当教員の保有国家資格や実務経験、専門性等を勘案して作成を行っている。例えば、人間と社会の領域における、人間の尊厳と自立という科目については、人間及び尊厳の理解ができることを到達目標としている。また、方法についても講義形式だけではなく、全体討議やロールプレイ、グループワーク、個別演習、視聴覚教材等を取り入れて、介護福祉士に必要とされる知識・技術を教授している。成績評価については、科目内容に沿ったレポートの提出及び、定期試験等にて行っている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本校ホームページにて公開 (<a href="http://www.wakayama-syakaifukushi.ac.jp">http://www.wakayama-syakaifukushi.ac.jp</a>)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>講義や演習、実習等の授業において、本人の取り組み姿勢・態度や試験・レポート。報告書等を実施して、優・良・可・不可の 4 段階にて評価を行っている。学生個々の様々な状況等を勘案して、必要に応じて講師会等を開催して、客観的な視点を踏まえながら、厳格かつ適正に単位・履修の認定評価を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では、優・良・可・不可の評価項目にGPを定め、評価を受けた授業科目のGPに当該科目評価の修得単位数を乗じた値を算出し、その値に評価を受けた科目の総単位数で除した値をGPAとし、当該年度における学修の状況及び成果を示す指標としている。

合否	評価	基準点	GP
合格	優	100~80	3
	良	79~70	2
	可	69~60	1
不合格	不可	59~40	0
		39~0	0

$$GPA = \frac{\text{優の修得単位数} \times 3.0 + \text{良の修得単位数} \times 2.0 + \text{可の修得単位数} \times 1.0}{\text{総単位数}}$$

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

学生便覧、本校ホームページにて公開  
(<http://www.wakayama-syakaifukushi.ac.jp>)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

講義や演習、実習等の授業において、本人の取り組み姿勢・態度や試験・レポート。報告書等の実施及び、講師会等を通じて修業年限の2年間で65単位2080時間の科目履修から、卒業の認定を定めている。その後、教職員会議に諮り、最終学校長が卒業認定を決定する。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本校ホームページにて公開  
(<http://www.wakayama-syakaifukushi.ac.jp>)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	和歌山社会福祉専門学校
設置者名	学校法人きたば学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所に備付で、申請があれば閲覧・公表。
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページにて公開 ( <a href="http://www.wakayama-syakai-fukushi.ac.jp">http://www.wakayama-syakai-fukushi.ac.jp</a> )
財産目録	事務所に備付で、申請があれば閲覧・公表。
事業報告書	事務所に備付で、申請があれば閲覧・公表。
監事による監査報告（書）	事務所に備付で、申請があれば閲覧・公表。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	社会福祉専門課程	介護福祉科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2080 単位時間 / 65 単位	970 単位時間 / 34 単位	570 単位時間 / 18 単位	520 単位時間 / 13 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
		2080 単位時間 / 65 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人	84 人	47 人	6 人	13 人	19 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）毎年、授業計画及び到達目標、成績評価の方法に関しては介護福祉士養成に必要とされる4領域（人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケア）の内容を、担当教員の保有国家資格や実務経験、専門性等を勘案して作成を行っている。例えば、人間と社会の領域における、人間の尊厳と自立という科目については、人間及び尊厳の理解ができることを到達目標としている。また、方法についても講義形式だけではなく、全体討議やロールプレイ、グループワーク、個別演習、視聴覚教材等を取り入れて、介護福祉士に必要とされる知識・技術を教授している。成績評価については、科目内容に沿ったレポートの提出及び、定期試験等に行っている。

成績評価の基準・方法

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）  
本校では、優・良・可・不可の評価項目にG Pを定め、評価を受けた授業科目のG Pに当該科目評価の修得単位数を乗じた値を算出し、その値に評価を受けた科目の総単位数で除した値をG P Aとし、当該年度における学修の状況及び成果を示す指標としている。

	合否	評価	基準点	GP
合格		優	100~80	3
		良	79~70	2
		可	69~60	1
不合格	不可		59~40	0
			39~0	0

GPA =  $\frac{\text{優の修得単位数} \times 3.0 + \text{良の修得単位数} \times 2.0 + \text{可の修得単位数} \times 1.0}{\text{総単位数}}$

卒業・進級の認定基準

(概要) 講義や演習、実習等の授業において、本人の取り組み姿勢・態度や試験・レポート。報告書等の実施及び、講師会等を通じて修業年限の2年間で65単位2080時間の科目履修から、卒業の認定を定めている。その後、教職員会議に諮り、最終学校長が卒業認定を決定する。

学修支援等

(概要) 学生個々の性格や理解度、学習習慣等の様々な状況を鑑み、相談対応・面接・個人ワーク・グループワーク等の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	23人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 社会福祉分野 (高齢者・障害者関連)

(就職指導内容) 個別面談を数回重ねて、本人の意向を確認の上、基本的には尊重するが、就職先の選択理由等を詳細に把握し、卒業後の定着も含めた指導・助言を行っている。

(主な学修成果 (資格・検定等)) 介護福祉士養成校に対して、卒業時の国家試験受験開始となった平成29年度が合格率100% (全国70.8%)、昨年度の平成30年度が97.5% (全国73.7%)

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	5人	9.6%

(中途退学の主な理由) 心身の状況及び家庭環境の変化、他分野への進学・就職

(中退防止・中退者支援のための取組) 入学後から年間で4回程度の個別面談実施、また、出席状況や成績状況・学校を離れる実習期間等において、随時にSNS等を活用した連絡・相談や個別面談を実施している。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護 福祉科	250,000 円	600,000 円	325,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所に備付で、申請があれば閲覧・公表。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) (実施方法) ①学校の自己評価に基づき教職員の意見聴取及び学校施設の視察を行う。 ②学校が設定した評価項目の達成及び取組状況の確認。③今後の課題や改善策を示し、 教育活動・学校運営の向上に役立てる。 (体制) 学校関係者である、卒業生及び保護者、実習関係機関・施設及び職能団体等から 委員を構成し、学校への理解促進や連携協力により、学校運営の改善を図る。		
学校関係者評価の委員 ※2020年度から学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するため に委員の選任を行う。		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に実施・公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.wakayama-syakaifukushi.ac.jp">http://www.wakayama-syakaifukushi.ac.jp</a> (インスタグラム・ツイッターでも情報発信 を行っている。)、パンフレット (電話・メール・ホームページから請求可)
---